

長谷川代表からのおすすめコメント

今のマイブームは、この「滝イオンメディック」です。
というのは…

- ①臨床(整体(指導))に効果を上げられるから。
- ②実際に私自身が使ってみて驚きだったから。
- ③ついに、私が求めていた“科学(グッズ)からの逆襲”の実現を思ったから、です。

まずは③から説明していきましょう。

それには、マイナスイオンの話から。(といっても、ごく簡単に)
マイナスイオンについては、「マイナスイオン講座」というDVD(CD)を当会で販売しているように、昔から注目していました。

マイナスイオンとは簡単にいえば電子のこと。

それが豊富だと、酸化しにくくなる。つまり錆びない。腐らない。
腐敗ではなく発酵ですね。

だから、私たち人間や動物、植物などもマイナスイオン(素子)があると生き生きとする。

つまり、良い気(エネルギー&バイブレーション)といってもいいわけですね。

真心をこめてぬか漬けを作れば、良い菌が育って美味しいぬか漬けができるように、
愉氣をすれば、菌をはじめ、生きとし生けるものは、元気になっていく。

たとえばマイナスイオンの豊富な水は弱アルカリ性なのだそうですが、

私たちが愉氣をすることで(きたらポカンとして天心の愉氣)、コップの中の水が数十秒でアルカリ性になります。

(リトマス試験紙で確かめられます。

ちなみに、邪心?を持って(つまりポカンとしないで)愉氣をすると酸性になることがリトマス試験紙で確かめられます)

だから、マイナスイオン(電子)とは、天心の愉氣の科学的性質を表現したものといってもいいのかもしれませんが。

それを人でなく、機械的、物からも得ることができないか?

これを最初に考えたのは、おそらくカタカムナ文明の発見者である檜崎こう月氏でしょう。

彼は科学者だったのですが、そうした気(エネルギー&バイブレーション)にもとても敏感でした。

お弟子さんでありパートナーであった宇野多美江さんのご自宅に初めて行った時、

「あなた方、この部屋の中の、電子の流れ(イオンロチの気の流れ)を感じ、そこに立ってみてください」

と、いきなり言われました。そして私たちが目をつぶらせて立ったあとに、

目を開けると、なんと私たち数人の立ったところは、一本のラインになっていました。

「その通りです。ここの電子の流れは、そのラインなのです。

あなた方には感じる力があるようですから、ほんとうのこと、とっておきのことをお話ししましょう」

そして、宇野多美江さんから直々にカタカムナの奥義について教わったわけですが、

残念ながら、その内容はここでは公開できませんが、(というか忘れてること多し。(°o°)！)

要約すれば、気には陰と陽があり、それを活用していく方法ということでした。

電子(マイナスイオン)は陰の気といってもいいでしょう。(でも、それに浴すると、必要な場合、自然に陽になります！)

ともかく、檜崎こう月さんはそれを人工的にできるようにと考え、

埋炭という炭を細かくしたものを地中に埋めることを発明したのです。

発明したというよりは、まとめあげたと言ったほうが正確でしょう。

なぜなら、あらゆる神社、教会には、古くから炭が埋まっているからです。

古人の智慧なのでしょうが、炭は、置いておけば電子(マイナスイオン)を放出し、そして乾電池のように消費していきますが、

埋めるとそれこそ乾電池のような形となって、逆に電子(マイナスイオン)を呼び込んでくるのです。

するとどうなるか。

その埋炭をしたところから、同心円上に、マイナスイオンが豊富になり、

住んでいる家屋、家人はもとより、その周囲までマイナスイオン(土地の愉氣)の影響が及んでいくのです。

“埋炭した家を避けるように地震の亀裂が走った”

とは、阪神大震災のときのデータですが、

この理由は何なのだろうね、と芦屋道場で言ったところ、

スタッフのT君が「先生、それは地学の教科書に載っていますよ」と。

どうも、中学が高校で習ったことらしい。

そんなバカな、と聞くと。

「雷が落ちたところは、地震が来ない理由が書いてありますよ」とのこと。

さらに聞くと、

「雷が落ちたあとは、電子(マイナスイオン)が豊富になります。(ええ、それは知っていますよ)

そして、地震というのはプラスイオンのところにしか起こらないのです。(へーっ！)

埋炭をしたところは電子(マイナスイオン)が豊富ですから、大きな地震であっても、そこだけは行きにくいのです。」

なるほど。。。

ちなみに、プラスイオンが好きなものは、地震だけでなく、有名なものでいえばゴキブリなどのいわゆる害虫やバイ菌。

彼らは電子(マイナスイオン)が豊富なところ(これをカタカムナではイオンロチというのですが、上述)、

たとえば炭を埋めているところとか愉氣をしているところなどはとても苦手なのです。

実際、電子(マイナスイオン)を当てると寄ってくる菌や虫と、逃げていくものに別れます。

これは愉氣も同じなので、ぜひ試してみてください。

(※もし、あなたが愉氣した部屋、あるいは愉氣しているときに、ゴキブリさんが近寄ってきたら、

あなたの愉氣は、ちょっと思考が多い(つまり水落が固い)プラスイオンのほうなのかもしれませんね。

さて、榎崎こう月氏は、電子(マイナスイオン)を豊富にするために埋炭を推奨したのですが、もう一つ。

電氣的に電子(マイナスイオン)を発生する装置を発明しました。

この二つの発明によって、彼は電子農法を推奨し

(今でも伊勢神宮では、その農法で採れた作物を神様に献上しています。私も食べたことが何度かありますが、とても自然な味でした！)

植物、のみならず病気の方の治療にも、数多くの実績データを残しました。

実は…

横浜道場は1トン520kgの炭を用い、(量の中にも一量に5kgの備長炭の粉末が入っています)

もちろん埋炭も行い、そして、榎崎こう月氏の発明した電子(マイナスイオン)発生機を、二階に設置しています。

つまり、彼の電子(マイナスイオン)における二つの人工的な発見、発明を実現しているわけです。

ところが…

埋炭はともあれ、電子発生機については、その後の科学の進歩が急速で、

(何しろ60年ほど前ですからね)更に素晴らしい改良が重ねられたのです。

そうしたことの詳細が、上述の「マイナスイオン講座」のDVD(CD)の中で藤原先生から語られ、

そして藤原先生が作られた電子発生機も横浜道場の一階、神棚の下に設置されているのです。

(実は、皆さまが購入した製品は、その上に置いて電子(マイナスイオン)チャージを行っているのです。

で、人間(いつも私が担当ですが)が、天心の愉氣をさせて頂くと共に、

ちゃんと変わったかな、この製品も喜んでいるかな、

そして何より、“この製品を使われる方にとって”いい製品にもなったかな、

と確認して出荷しております)

そうして更に10数年の月日がたちました。

今、最も電子(マイナスイオン)量を多く発生する機械がこの“滝イオンメディック”です。

詳細については、インターネットで検索されてもいいですし、

お薦めなのは、内海聡医師の書かれた「うつみんの凄すぎるオカルト医学 まだ誰も知らない《水素と電子》のハナシ」

この本は、ぜひ一読ください！

私も、その本を読んで、なんと藤原先生の作られた以上のものが作られていたとは、とか、

S社のプラズマ○○とかP社のナ○○などのほぼ1000倍のマイナスイオン量(100倍ではありませんよ！あの数十万円の機械が1000台ないと、この「滝イオンメディック」の電子(マイナスイオン)の量にならないのです。)、

しかもそれらとは違ってプラスイオンを放出しません。反対にプラスイオン(ゴキブリ)をどんどん皆無にしていけます、とか、

また、科学的には解明されないのが残念ですが、

「スマホなどの電磁波が電磁波計測器で全く測定できないレベルにまでなってしまう」とか、

「末期癌の方が…」

(これは薬事法の関係で少ししか紹介されていませんが、私たちが取り扱っている「マコモ」(特に“マコモ風呂”)と同様ですね…)

「アンモニアに浸した紙を近づけると30秒でまったく匂わなくなる」

「霊的なことに対しての…」

等々……

いやいや、これは機械に負けていられない、

私自身がそうした人間埋炭、更なる電子(マイナスイオン)発生機にならなくては、

そのためには、私自身の心身を整体(=整心)にしていなくては、

と奮起した、の、で、す、が…

ついつい、電子(マイナスイオン)に対する長年の興味、そしてこの製品の魅力に負けて、

読んだ数日後に購入してしまいました。

(結構、高価だったため、もちろん躊躇はしたのですが、

いやいや、まずは私自身が試さなくては…

いやいや、この状況でお金を使うからこそ入ってくる…

と自分自身に言い訳をしつつ…)

届いたときのうれしかったこと。

皆さんもそうでしょうか？

自分がほしい物が、いよいよ届いた時、購入できた時、

それはとってもうれしい感情です。

その時の私はまさに久しぶりに子供に戻った気持ちでした。

しかし、皆さん、その後はいかがですか？

私も、購入できたはいいけど、その後ちょっとガツカリとか、しばらく使っているうちに、最初のうれしい感じが少なくなることの何と多いことか。

——しかし、決して「要らない」にはならない。

そうしたものもあるはずですが。

馴染んでしまったために、空気のような存在になってしまったために、

購入したときの嬉しさは少なくなっている、とっても大切な存在というものが。

たとえば先の横浜道場でいえば、今も埋まっています、そして日々、年々、電子(マイナスイオン)を呼び込んでくれている『埋炭』もそうです。

最初は、その変化に驚きましたが、今では、伊勢佐木町から一歩入っていくと、この空間になる、というのが当たり前になっています。

いえ、数年前からは、道場の近くから道場の感じが感じられるようになりました。

10年前、もちろん20年前は、そんなこと全く感じなかった。

道場の中に入ると、「ああ、清々しい…」と感じた。

きっと電子(マイナスイオン)の影響が少しずつ同心円上に広がっているからなのでしょう。

この子(滝イオンメディック)も、そんな存在でしょう。そして必ずやそうなることでしょう。

さて、内海医師の本には「放射能」のことについても触れています。

(ちなみに、この本は、滝イオンメディックだけでなく、途中からは「ワン酵素」という大変面白い液体なども紹介しております。

私自身、実はこの原稿を書いている今も、ワン酵素を活用しています。もちろん、傍らにはタキくん(滝イオンメディック)もいます。ありがとうね。)

さて、「放射能」のことですが、この悪影響が自然な放射能によって軽減、消失できることはご存じですか？

実際のところ、北投石などをはじめとするラジウムを発生する自然物、

つまり自然放射能は、人工的な放射能の影響を軽減、消失するのだそうです。

ちなみに、野口晴哉先生の師匠(松本道別氏)は、愉氣のことを人体放射能と呼んでいました。

そのころの科学データをきちんと載せて研究していただけて、

自分の会の名称を“人体ラジウム研究会”とまで名付けていたほどです。

ともかく、愉氣をすると(人工)放射能の影響がとれていく。

(※その愉氣する急処については「放射能講座」のDVD(CD)をご参照ください。(CD2枚・DVD1枚／一般・会員とも1500円))

そして、この滝くんも、「放射能軽減効果」が絶大にある、ということが、

同著に記されております。)

いやいやいや…

ほんとうに、私たち(愉氣する)人間は負けていられないと思います。

弟子である野口晴哉先生は、氣というものはラジウムだけではない、と仰っていましたが、

しかし、こうして電子(マイナスイオン)という側面からも段々と少しずつですが、

氣というものが科学的に解明しつつある、

いえ、解明はできなくとも、愉氣と同様、それに近い効果をあげる物が出来始めてきたというのは驚きです。

それが、③にて、「科学からの逆襲」と書いた理由なのです。

②の私自身の使用感についてはたくさんあるのですが、

何より、眠りの質が変わった。そして部屋の匂いがまったく変わってしまった。

もちろん、部屋の氣(エネルギー&バイブレーション)も大きく変わった。

これは、一日で実感できたことですが、その後、数日、一週間と使い続けるとかなり場が変わるためか、

体調(細かくいえば椎骨の状態、変動)、それと共に精神的なことの変化を実感できるようになってきました。

しかし、家族の反応は一日目から変わりました。

いつもは私の部屋には来ない家人たちが、「リラックス～」と言いながら、私のお部屋に訪れるようになりました。

ちなみに、

私は、道を歩いていると、ほぼ毎日、蝶や鳥さんたちが寄ってきます。

(ゴキブリさんでなくて良かった。)そしてよく、彼女(彼)らと話しもします。

スカイツリーのそばの焼き肉屋さんは、私が訪れると「先生～！」と仰り、

そして「ほら、今日もまた！」と仰います。

なぜかという私が訪れると、お客さんがどんどん増えていくのだそうです。

それなのに、灯台もと暗し、ということでしょうか、

家人は、あまり寄って来なかったのが、この子が来た当日から毎日寄ってくるようになった。

(うーん、やはり、私自身が頑張らねば…)

また、ホテルに持っていくのもお勧めで、

場所によっては、ちょっとこの場合は…というときに、場に愉氣したり、気合を入れなくとも助かっています。

どんな空気清浄器よりも最強に脱臭しますので、壁に数十年間染み込んだ煙草等の匂いも分解して消臭できます！

(かび臭い部屋でも、とても助かります。…というか、カビは、電子不足のところに生えますので、ゴキブリのみならず、そういうところに靈障も多いのではい

ね。)

電磁波が計測不能になったり、放射能の影響が激減したり、などは事実ですが(上述)、

それ以上にも、まだ科学的に解明できていない、何か場所を改善する力があるのかもしれない。

霊的な影響も無くなる、ということは、氣(エネルギー&バイブレーション)が変わるためなわけです。

野口先生は自分が愉氣した場所には、もう幽霊はこない、と仰っていましたが、

それを機械で実現できるのはすごいことではあります。

(ただ、私は、ゴキブリにはゴキブリの可愛らしさも感ずるのです。

すぐに仲良くなってしまいう性質なためか、ヤクザさんたちとも楽しく付き合い、とんでもない経験もしましたが…)

そのため、マイナスが良く、プラスが悪いという考えにはちょっと賛同できない面があります。

その考え自身がプラスイオンのではないか、とも思ってしまう。

もっと、自分自身が、それこそ天心な気持ち(それが科学的に言えば電子(マイナスイオン)なのかもしれないが)

になっていくことが、

今こそ(いえ、いつも)必要なのではないか、と思うのです。

しかし、体調(心の調子)によっては、

この音楽は聞きたくない、とか、この味はちょっと…ということはあるでしょう。

それと同様、この家、この部屋、この場所は、ちょっと…ということもあるでしょう。

私がこの滝くん(滝イオンメディック)をお勧めしたい人は、そんな方です。

そう、

この子は、特に埋炭ができない環境の方(マンション住まいなど)にお勧めしたい“愉氣グッズ”です。

(つまり、住んでいるところを「イヤシロチ(とても良い場所)」にしたい方にお勧めしたい、ということ)

あるいは、今、精神的、体調的に優れない方。

(難症の方を改善している多くの実績があります。ちなみに、これは、『医療機器』(正しくは、『医療用物質生成器』として認定されています！))

さらに体調や心の調子を上げてゆきたいという方への“補助グッズ”としてお勧めしたい。

だって、まずは自分の力で体調(心調)をあげ、健康(整体)に戻すことが第一ですもの。

その上で、それが円滑にできるように家人や友人と愉氣(手当て)をし合う。あるいは(いや更にその上で)、整体指導者による愉氣を受けていくというのが氣道的な順序でしょう。

(そうでないと、最初から物に頼ってしまう、という心理的な依存を引き起こすことも多いと思うからです。

特に、今回の製品は、自然な影響とはいえ、あまりに強力な影響力を持つため、

(この1台だけでも、範囲でも、80畳までカバーできます)

このこと強調させて頂きました)

今回の製品に対しては、思い入れも大きいため、
(また今までカタカムナや電子(マイナスイオン)に対する思い入れもあるでしょう)
少し長いコメントになってしまいましたが、
実はまだまだ書き足りない感じでもあります。
まずは、上述した内海医師の本を一通り下さったら幸いです。

また、他の商品同様、私たちからご購入して下さった方には、
真心こめて、天心の愉氣をさせて頂いた上、発送させて頂いております。
この“滝イオンメディック”はたくさんの愉氣が入ります。

(そのため、最後になりましたが、2017年10月号の近況報告から、以下、転載。)

その他、優れた除菌効果など特筆したいことは他にも枚挙に暇がなく、
20年ぶりに機械による優れた“愉氣発生器”に出会い驚いている次第。

(ちなみに、氣道的立場では、除菌効果については、喧伝したくない。なお、他の効果については、内海医師の書籍やサイトをご参考になってほしい。)

会員の皆さんには、そのうちにチラシが届きますので、今暫しお待ちを。

(ただ高価なものなので、上記したように1、住居をイヤシロチ(良い場所)にしたい方や、

2、現在、慢性病の方で、氣道メソッドを行った上での補助器具として使いたい方に、特にお薦めしたい。)

なお、私たちが販売店になったことをいち早く知った会員さんが今日もご購入されたが、

目一杯、この電子(マイナスイオン)発生器(名称/滝イオンメディック)に、愉氣させて頂いて発送した。

この子(滝イオンメディック)自体が“愉氣発生装置”なのだが、それでも本体には、そして今後の発生(特に使用者に合わせた発生)に関しては、愉氣の
必要があるようで、

かなり愉氣する必要があったのと、それこそかなり愉氣が入る機器であったのは不思議だった。(パソコン以上に愉氣が入る)

ともかく、これで最高の電子(マイナスイオン)発生器になったかな、と思いつつ今日は横浜道場を後にしたのであった。

しかしながら、こうしてご紹介できること自体に意義を感じていますので、
どこから購入して下さっても紹介役である私としては、うれしいです。

東京道場近くのホテルにて滝くんと共に。

長谷川淨潤